

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたち に伝えます
私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています



土浦平和の会

ニュースNo. 203 2009年 1月

発行 土浦平和の会

事務局 土浦市神立町2664-2

TEL 831-9122

http://www.geocities.jp/ino011_jp/

賀正

今年もよろしくお願ひします 土浦平和の会理事一同

暗雲たれ込めるなか

憲法9条平和主義に希望の光

深刻な経済危機の中、「おめでとう」のことばも憚られるような2009年の年明けである。

今年、世界大恐慌が始まってからちょうど80年目にあたる。昨年は、アメリカ合衆国のサブプライムローンに端を発した金融不安が、大証券会社リーマンブラザーズの破綻といった世界的規模での金融危機へと拡大した。現在も世界各国の政府・中央銀行が、空前的規模の公的資金の投入をおこなっているにもかかわらず、いつ何時「世界恐慌」が起こるかもしれないという暗雲がたれ込めている。

80年前の大恐慌の後には、ファシズムと戦争の時代がやってきた。歴史は単純に繰り返すものではないにしても、経済的な危機・混乱の後には、市場や資源をめぐる政治的衝突が起こる危険性は高く、パワーポリテクスが横行する時代の到来が懸念される。

ところで、この「パワーポリテクスの時代」の予兆を思わせる出来事が、例の田母神「論文」問題であろうと思われる。

私も、田母神俊雄氏の「論文」「日本は侵略国家であったか」を入手して読んでみたが、たいへん重大な問題が含まれている。歴史認識問題にとどまらず、国の防衛政策、自衛隊のあり方にまで踏み込んだ議論を展開しているのである。

この問題の重大性について、歴史教育者協議会は次のように指摘している。

歴史教育者協議会声明

一つ目は、田母神「論文」は、過去の日本の植民地支配と戦争を正当化するために、都合のよい歴史観(ほとんどが戦前のプロパガンダとコミンテルン謀略史観)を自らの主張に取り込んだにすぎないこと、それも何ら検証することもなく書き綴ったものであり、歴史研究に値しないものである。

裏面に続く

平和の会ニュース、平和かわら版(PDF版)配信しています

平和のなかまに伝えたいニュースやご意見を事務局にお寄せください FAXは029-831-9122

早い、確実に届くご希望の方はeMailアドレスご連絡ください

私たちの活動や意見を平和委員会のなかまたち に伝えます
 私たちの会費が日本平和委員会と茨城県平和委員会の活動を支えています

(歴史教育者協議会声明の続き)

二つ目は、航空幕僚長という立場で、自らの歴史観を述べたことに対し政府は職をやめさせたが、理由は政府見解と異なること、文民統制だとした。しかし、今もって政府は田母神史観を批判していない。三つ目は統幕学校で田母神史観に基づいた「歴史観・国家観」の講義を行っていたこと、幕僚長自身、自衛隊内で侵略戦争・憲法否定の講話を公然とおこなっていたことも明らかにされた。従って、これは過去の侵略戦争を美化する教育が自衛隊内に蔓延していたことを示している。四つ目は、田母神「論文」が公になったことで、これに共感する政治家やマスコミも登場した。この田母神歴史観が自衛隊の海外派兵と集団的自衛権の行使をめざした改憲勢力とつながっていることが明らかになっている。

(歴教協声明)

とりわけ第3第4の指摘が重要であり、山田朗歴教協委員長もその点を重視し、次のように述べている。「田母神“論文”の問題は、ただ単に制服組のトップにとんでもない歴史認識の人物がいた、という問題にとどまらず、「専守防衛」という従来の防衛政策と自衛隊のあり方を根本的に変えようという一種のマグマが防衛省・自衛隊の中でかなりたまってきており、それが地上に出てしまったものだ。」たしかに現在は、「パワーポリテクスの時代」の再来に対応するような危険な動きがみられ、予断を許さない状況下にある。

しかし、このような危機の時代こそ私たちが改めて軸足を置かなければならないのは憲法九条の平和主義の大原則である。昨年4月の名古屋高裁のイラク派兵差し止め訴訟の違憲判決は日本がパワーポリテクスの泥沼にはまりこもうとしていることへの一大警鐘であった。

この判決は、憲法九条第1項は、戦争放棄だけでなく、戦争にいたらない「武力の行使」、「武力による威嚇」を明確に違憲と認定した画期的なものである。

私たちは、今こそこのような憲法9条の平和主義に確信を持ち、そこに立脚して勇往邁進したいものである。
 代表理事 齊藤房雄

2月11日は

百里平和稲荷初午祭り に行こう

民間共用化をめざして滑走路の建設や周辺道路の整備が進んでいます

百里はどう変わったのでしょうか。みんなで見に行きましょう

活動ごよみ

1・20 平和の会理事会 (コープ土浦)
 1・31 県平和委理事会 (水戸市青少年会館)
 2・11 百里平和稲荷初午祭り (平和公園)

2・17 平和の会理事会 (予定)